



平成24年1月13日

各 位

会社名 株式会社サカタのタネ
代表者名 代表取締役社長 坂田 宏
(コード番号 1377 東証第一部)
問合せ先 取締役執行役員 宇治田明史
管理本部長兼経理部長
(TEL. 045-945-8800)

第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成23年7月15日に公表しました平成24年5月期第2四半期累計期間(平成23年6月1日～平成23年11月30日)の業績予想値と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成23年7月15日に公表しました平成24年5月期(平成23年6月1日～平成24年5月31日)の通期業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成24年5月期第2四半期(累計)連結業績予想数値との差異(平成23年6月1日～平成23年11月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想(A)	21,500	900	1,000	500	10.95
今回実績(B)	21,412	1,592	1,642	755	16.79
差異額(B-A)	△87	692	642	255	
差異率(%)	△0.4	76.9	64.3	51.1	
前期第2四半期実績 (平成23年5月期第2四半期)	21,650	1,506	1,514	786	17.12

2. 平成24年5月期通期連結業績予想数値の修正（平成23年6月1日～平成24年5月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	47,400	2,800	3,100	2,100	45.97
今回修正予想(B)	46,000	2,100	2,200	1,000	22.22
増減額(B-A)	△1,400	△700	△900	△1,100	
増減率(%)	△3.0	△25.0	△29.0	△52.4	
前期実績 (平成23年5月期)	47,165	3,233	3,410	1,320	28.90

3. 平成24年5月期第2四半期（累計）個別業績予想数値との差異（平成23年6月1日～平成23年11月30日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想(A)	14,800	100	650	400	8.76
今回実績(B)	14,702	355	858	443	9.85
差異額(B-A)	△97	255	208	43	
差異率(%)	△0.7	255.8	32.1	10.8	
前期第2四半期実績 (平成23年5月期第2四半期)	15,164	496	841	146	3.19

4. 平成24年5月期通期個別業績予想数値の修正（平成23年6月1日～平成24年5月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	32,500	750	1,500	1,050	22.99
今回修正予想(B)	32,500	350	950	500	11.11
増減額(B-A)	—	△400	△550	△550	
増減率(%)	—	△53.3	△36.7	△52.4	
前期実績 (平成23年5月期)	33,129	1,498	1,970	215	4.72

5. 修正の理由

(1) 第2四半期連結・個別業績予想数値との差異について

- ① 第2四半期累計の個別業績は、東日本大震災後の消費落ち込みも加わり全体的に売上げが伸び悩んだものの、本社経費を中心とした販管費の計上が下期にずれ込んだこともあり、営業利益は3億55百万円と当初予想比2億55百万円増(255.8%増)となりました。
- ② 連結業績も、下期に大幅増加を計画していた海外での野菜種子売上げが上期に実現し、増益となりました。とくに、南米での野菜種子がほぼ全品目にわたって上期好調を持続したことが主要因となっております。この結果、営業利益は、15億92百万円(当初予想比6億92百万円増、76.9%増)、経常利益は、16億42百万円(当初予想比6億42百万円増、64.3%増)、当期純利益も7億55百万円(当初予想比2億55百万円増、51.1%増)とそれぞれ大きく増益となりました。

(2) 通期連結・個別業績予想数値の修正について

- ① 一方、通期業績は個別・連結とも予想比減益となる見込みです。
- ② 国内では、上期につづいて下期におきましても野菜種子売上げが低調に推移するものと予想しております。また、急激な円高と株安で為替差損と投資有価証券評価損も当初想定していた金額から悪化すると予想し、営業利益、経常利益、当期純利益をそれぞれ3億50百万円(当初比△4億円)、9億50百万円(当初比△5億50百万円)、5億円(当初比△5億50百万円)、と下方修正いたします。
- ③ また、連結業績でも、海外子会社の下期業績が上期にずれ込んだことに加えて、北米での野菜種子生産コストが増加したこと(主にニンジン種子の生産が計画量を下回ったことによるもの)等が影響し、当初予想から減益となる見込みです。

なお、今回、通期の為替レートを77円/US\$、100円/ユーロに変更しております。

(注) 本資料に記載された業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上